高知工業高等専門学校	総合科学科	開講年度	令和02年度 (2020年度)

学科到達目標

本校の創設以来の校是である「風格の高い人間・技術者の養成」を目標の第1に掲げ，高専の特色である早期一貫教育，実践的技術者教育という方針のもとに将来のエンジニアとしての基礎となる能力の修得を本科の主目標とし，それらを社会・地域のニーズに対応して応用・展開する能力や国際化に対応し得る能力の修得を専攻科の主目標として掲げています。

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分
						1年				2年				3年				4年				5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後		前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	必修	化学３（M）	0001	履修単位	1									2													
一般	必修	化学３（E，Z）	0002	履修単位	1											2											
一般	必修	倫理	0003	履修単位	1									1		1											
一般	必修	国語III	0004	履修単位	2									2		2											
一般	必修	保健・体育III	0005	履修単位	2									2		2											
一般	必修	英語表現	0006	履修単位	1									1		1											
一般	必修	英語III	0007	履修単位	3									3		3											
一般	必修	数学演習	0008	履修単位	1									1		1											
一般	必修	微積分II	0009	履修単位	3									3		3											
一般	必修	日本語表現	1412	履修単位	1													1		1						佐藤 元紀,翁 長 志保子	
一般	必修	哲学	1422	履修単位	1													1		1						佐々木 正寿	
一般	必修	環境地理学	1428	履修単位	1													2								池谷 江理子	
一般	必修	保健・体育IV	1451	履修単位	2													2		2						市村 梨乃,澤本 章一,新田 忠彦	
一般	必修	総合英語I	1477	履修単位	2													2		2						赤山 幸太郎,野中 美賀子	
一般	選択	法学Ａ	1482	履修単位	1													2								菊池 直人	
一般	選択	法学Ｂ	1483	履修単位	1															2						菊池 直人	
一般	選択	経済学	1484	履修単位	1													2								宮村 武志	
一般	選択	心理学	1485	履修単位	1															2						佐々木 昌太郎	
一般	選択	世界文化論	1488	履修単位	1													2								佐々木 正寿	
一般	選択	英語特論	1490	履修単位	1															2							
一般	選択	中国語会話	1491	履修単位	1													2								小谷 李子	
一般	選択	中国文化論	1492	履修単位	1															2						小谷 李子	
一般	必修	人間と科学技術	1523	履修単位	2																	2	2			佐々木 正寿	
一般	必修	総合英語II	1577	履修単位	2																	2	2			細川 伴子	
一般	選択	数学特論	1593	履修単位	1																	2				川村 昌也	
一般	選択	ドイツ語	1597	履修単位	2																	2	2			塩見 由利	

高知工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	日本語表現

科目基礎情報

科目番号	1412	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	総合科学科	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	参考書：「スキルアップ！日本語力　大学生のための日本語練習帳」（東京書籍）、適宜補助プリント		
担当教員	佐藤 元紀,翁長 志保子		

到達目標

1．日本語文章の仕組みについて正確に理解し、説明できる
2．文章の形式に従って、場面に沿った適切な文章を日本語で構成することができる
3．場面にふさわしい言葉遣いや敬語を文章に用いることができる
4．自らの考えを客観的に捉え、論理的な文章を書くことができる
5．他者の文章を読み、適切に校正することができる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	形式をふまえた上で、豊かな表現力を身につけて実用文を書くことができる。	形式に則って実用文を書くことができる。	形式に則って実用文を書くことが十分にできていない。
評価項目2	場面にふさわしい言葉遣いや敬語を使い、自らの考えを論理的かつ十分に伝える文章を書くことができる。	場面にふさわしい言葉遣いや敬語を使い、自らの考えを論理的に伝える文章を書くことができる。	場面にふさわしい言葉遣いや敬語を十分に用いることができず、自らの考えを伝える論理的な文章を書くことができない。
評価項目3	他者が記した文章を精読し、 その表現の誤りについて適切に校正することができる。	他者が記した文章を読み、 その表現の誤りについて校正することができる。	他者が記した文章を読み、 その表現の誤りについて校正することができない。

学科の到達目標項目との関係

JABEE (E)

教育方法等

概要	①日本語で効果的に書くために必要な技術を習得する。 ②構成を意識して文章を書き、それを互いに添削する取り組みを通して, 日本語による適切な文章表現を身につける。 ③国語Ⅰ・国語Ⅱ・国語Ⅲで得た基礎知識・スキルを自ら発展させ,社会生活を営む上で必要な日本語表現力を養う。
授業の進め方・方法	①テキスト並びに補助プリントを使用して事前に自ら学習し、その内容をふまえて毎時演習形式にて授業を行う。 ②互いに添削を行い、学習者自らが文章表現上の問題点を発見し、自らの文章表現に反映することを目ざす。
注意点	【成績評価の基準・方法】 ①試験の成績を70%, 平素の学習状況等（演習問題への取り組みや提出物の状況を含む）を30%の割合で総合的に評価する。 ②技術者が身につけるべき専門基礎として,日本語表現力の修得の程度を評価する。 【事前・事後学習】 ①次回授業にて扱う箇所を自ら読み、練習問題を解いた上で授業に臨むこと。 ②試験では授業での既習範囲ならびにSPI試験の言語分野を中心に出題するため、各自で勉強を進めること。 【履修上の注意点】 授業は90分（隔週）にて実施する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	導入：授業の目標・年間予定についての説明 第0回　はじめに	授業の目的について理解する 日本語の適切さがどのように決まるのか説明することができる
		2週		
		3週	第1回　敬語の種類と使い分け	敬語の種類を理解し、場面ごとに敬語を使い分けることができる
		4週		
		5週	第2回　注意すべき敬語	二重敬語、マニュアル敬語を正すことができる
		6週		
		7週	第3回　配慮を示す言葉	ポライトネスについて理解し、適切な言語行動ができる
		8週		
	2ndQ	9週	4回　品詞・活用の種類	品詞の種類や、動詞・形容詞の活用について説明することができる
		10週		
		11週	第5回　ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉	助動詞の使い方を理解し、誤りを正すことができる
		12週		
		13週	第6回　文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	主述の対応、副詞の呼応について説明することができ、あいまい文を正すことができる
		14週		
		15週	第7回　接続語と指示語と文章	接続語や指示語について理解し、それらを効果的に使用した文章を書くことができる
		16週		
後期	3rdQ	1週	第8回　類義語・対義語	類義語・対義語の使い分けについて説明することができる
		2週		
		3週	第9回　動詞の自他・視点	視点を置く場所により、伝えられる内容が変化することについて理解し、文章に反映することができる

		4週		
		5週	第10回　文体、話し言葉・書き言葉	文体について理解し、話し言葉を書き言葉に改めて文章を書くことができる
		6週		
		7週	第11回　コロケーション	慣用的なことばの繋がりを理解し、文章内で適切に使用することができる
		8週		
	4thQ	9週	第12回　部首・音訓・熟語 第13回　仮名遣い・送り仮名	適切に漢字を使用することができる 現代仮名遣いと送り仮名の付け方を理解して文章を書くことができる
		10週		
		11週	エントリーシート・履歴書の作成 ： 効果的な自己ＰＲ文の作成技術を身につける	履歴書の形式を確認し、効果的なＰＲ文の作成技術を理解する
		12週		
		13週	エントリーシート・履歴書の作成： 効果的な自己ＰＲ文の作成技術を身につける	自ら履歴書を添削した上で、学生間で相互に履歴書を添削することができる
		14週		
		15週	第14回　総合問題	既習の知識やスキルを活用し、課題文を添削することができる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前3,前5,前7,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後9,後11,後13,後15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前7,後1,後3,後9,後11,後13,後15
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前7,後3,後7,後9,後11,後13,後15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,後11,後13,後15
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前3,前5,前7,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後7,後9,後11,後13,後15
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前7,前15,後11,後13,後15

評価割合

	試験	提出物	相互評価	事前学習	合計
総合評価割合	70	10	10	10	100
基礎的能力	50	10	10	10	80
専門的能力	10	0	0	0	10
分野横断的能力	10	0	0	0	10

高知工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合英語II

科目基礎情報

科目番号	1577	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	総合科学科	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	Thoughts & Notions (Reading & Vocabulary Development 2), published by Cenegage learning K.K.		
担当教員	細川 伴子		

到達目標

英語を母国語としない学生のための英語で書かれた教科書を用いることによって、読解力を身につける。扱う題材は、発明、スポーツ、食料、ミステリー、ビジネスなど幅広く、一般知識を英語で読む楽しさを発見する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	辞書に頼らず、大体の内容が理解できる。	分からない単語がいくつかあるが、辞書を引きつつ内容が理解できる。	辞書を引いても内容が理解できない。
評価項目2	自分の意見や考えを英語で表現できる。	間違いを恐れず、大体自分の意見や考えを英語で表現できる。	自分の意見や考えを英語で表現できない。「
評価項目3	積極的に授業に参加する。	幾分積極性に欠けるが、授業に参加できる。	授業に参加する意思を全く見せない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	今までに培った英語力を用いて、長文読解力を磨く。さらに、読むスピードのアップを図る。
授業の進め方・方法	まずは辞書に頼らず、全文を声に出して読む。読みつつ、頭から英文を理解していく。そのあと、分からない単語あるいは、構文を精査していく。 全体の流れとしては、声に出して読み、分からない単語は前後の関係から、予測する。英文を頭から理解していくことで、読むスピードアップを図る。
注意点	試験の成績76%、平素の学習状況等（課題等）24%の割合で総合的に評価する。学期ごとの評価は、中間と期末の各期間の評価の平均で求め、学年の評価は、全学期と後学期の評価の平均とする。また、到達目標に対する達成度は、試験等において評価する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	The Zipper	ジッパーについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		2週	The Postage Stamp	切手について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		3週	Pencils and Pens	鉛筆とペンについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		4週	Th Umbrella	傘について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		5週	The Metric System	単位について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		6週	Word Study	今まで学習した言葉を復習し、定着を図る。
		7週	Thai Boxing	タイボクシングについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		8週	Sumo Wrestling	相撲について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
	2ndQ	9週	Tarahumara Foot Races	Tarahumara Foot Racesについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		10週	Olympic Sports	オリンピック競技について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		11週	Great Athletes	Great Athletesについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		12週	Word Study	今まで学習した言葉を復習し、定着を図る。
		13週	The Puffer Fish	ふぐについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		14週	今までの総復習（対面授業再開予定）	今までの総復習
		15週	前期末試験	
		16週	試験問題の復習	試験問題の復習
後期	3rdQ	1週	Foods from Around the World	世界の食べ物について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		2週	Chocolate	チョコレートについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		3週	The Blue Revolution	The Blue Revolution について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		4週	Twenty-One Days Without Food	21日間の絶食について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		5週	Word Study	今まで学習した言葉を復習し、定着を図る。

		6週	The Marie Celeste	The Marie Celesteについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		7週	The Roanoke Settlement	The Roanoke Settlementについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		8週	The Easter Island Statues	The Easter Island Statuesについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
	4thQ	9週	後学期中間試験	
		10週	The Tunguska Fireball	The Tunguska Fireballについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		11週	今までの総復習	今までの総復習
		12週	Mystery of the Monarchs	Mystery of the Monarchsについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		13週	Word Study	今まで学習した言葉を復習し、定着を図る。
		14週	The History of Money	お金の歴史について書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		15週	Doing Business Around the World	外国で働くことについて書かれた文章を読み、内容を理解したうえで、設問に正しく答えることができる。
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	76	24	0	0	0	0	100

基礎的能力	76	24	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0